

第7回長野市総合計画審議会作業部会 会議録（要旨）

日時 平成18年2月22日（水）午後1時30分から

場所 第一庁舎8階 第三委員会室

（倉田部会員、堀内部会員欠席）

議事（1）基本構想施策の大綱素案（福祉部会関係）について

部会長

大タイトルとまちづくりの方向性について、ご意見をお願いしたい。

部会員

大タイトルで、「健やかに」は「暮らし」にかかるのか。

事務局

そのとおり。

部会員

「危ぶまれる」が下線となっているが、危ぶまれるというよりも、すでに進行していて大きな問題になっていると認識している。危ぶまれるとは、これから何か起こりそうだ、心配だという意味にとれる。

事務局

当初は、「進行している中」としていたが、少し強すぎるというご意見で修正した。

部会員

実際、危ぶまれているのか、現在起こっていて何とかしなければならない状況なのか、我々の認識の問題だと思う。

部会員

各家庭で事情が異なる。受取る側の考え方だが、当然進行しており問題だが、そこまで強く言ってしまってよいのか、中にはそこまで感じていない人もいないのではないか、という議論でこの表現になった経過だったと思う。

部会員

今本当に何とかしなければいけない状況にはあると思う。

部会員

危ぶまれるとは、これから起きるであろうという表現であり、これ以上深刻にならないようにしたい。

部会員

少子化は、実際起こっていることだが、人間関係については精神面であるので、そうなるのは困るという意味であれば、おかしくないと思う。

部会員

よく地域で懇談会などをすると、昔はよく縁側でお茶を飲んだり話をしていたが、そういう関係がなくなってしまうと聞く。ふれあいサロンなどを行っているが、こ

れは何とかしなければならぬという対策であり、これから起こるであろうということではなくて、今起きているということだと思う。もちろん起こっていない地域や家庭もあるが、施策として考えていく場合は、そういう現実が起こっているから、これ以上悪化しないように、人間関係が希薄化しないような手立てを積極的に創っていくことが必要であり、将来危ぶまれることに対するのでは、少し弱いと思う。

部会員

人間関係の希薄化が主語であるから、続き方に問題がある。

部会長

以前はどういう表現か。

事務局

「進行している」という表現だった。

部会員

最近、隣近所も知らないことが多いのは、間違いない。

部会員

都市化が進んでいる地域もそうだし、過疎が進んでいる大岡でもポツンポツンとしか家がなく、独居のお年寄りがいる家庭を訪ねる人もいなくなっている。そういう中、地域で認め合ったり支え合ったりする環境をどうしていくのかを考えると、前提にしていっての方が良いと思う。

部会員

少子化・高齢化は、数字で表せるが、人間関係は数字で表せるようなものがあるのか。実際数字があれば進行している状況と分かる。また、「希薄化が進行している」となると我が家もいかなと逆にマイナスイメージで捉える人もいるかもしれない。とすると緩い表現の方がよいのではと思う。確かに実際そういうことがあると思うが、人と会う頻度が減っているとか一人で孤立した時間が長くなっているなど客観的に分かればよいが、人間関係という情緒的なものをあまり強く表現するのはどうか。

部会員

人間関係が薄くなったり、孤立している人たちが多くなっている認識はないか。

部会員

確かに人と合う時間が少なくなっている。知っている人の数が少ないとか、話す時間が少ないという物理的なものを「希薄化」とするなら、そういう状況ではあると思う。

部会員

昔は寄り合って、自分達の地域をどうしようかという議論の機会があったが、本当に少なくなってしまった、と聞く。それらにより人間関係の希薄化が進行していると感じている。数字に表せなければ表現できないかということ違うと思う。自分達の地域を自分達でどうやっていくのか、というお互いの気持ちすらなくなっている。そういうことを含めて地域の中での人と人との関係や協働の気持ちが薄くなっていると思う。

部会員

これまでの既存の形は少なくなっているということで、20～30歳代の子どもを持つ若い人たちは、家庭の中での話す機会はあるのではないかと感じる。新しい形のコミュニケーションが生まれていることも事実だと思う。

部会員

人間関係を結ぶものは、ダイレクトなものだけではなく、IT、メールなどで繋がり合う時代になってきていることは分かる。しかし、地域社会をテーマにしたときに、昔の人間関係が、新しい関係に変わったという認識なのだろうか。

部会員

今現実はどうかということで、「危ぶまれてる」という未来的な表現ではなくて、「心配されている中」などの現在の言葉に置き換えることが必要では。

部会長

現実をどのように考えるかということ。進んでいるという受け止めはよろしいか。

専門部会長

希薄化が進行している「家庭」と直接結びつくところがどうか。地域が希薄化しているというところは、理解できるのではないか。

部会員

数字の問題では、厚生労働省から昨日公表されたのですが、高齢者同士で介護している4人に一人はうつ状態の可能性があり、3人に一人は自殺を考えたことがあるという介護の現場の厳しい数字が出されている。うつ的になるということは、自分から人間関係を拒否している状況と推測され、高齢化社会の進行に伴った数字である。児童虐待の問題は、孤立した母親の状況であり、濃密な家庭環境の反面、希薄化した家庭環境もある。

部会員

「人間関係の希薄化に危機すら憶えるこの状況」といったような言葉とすると、危機を認めているのではないか。

部会員

すぐに「家庭」ときているところに問題があるのでは。希薄化が進行しては困るということを「家庭」に結びつけると小さくなるから、違和感を強く感じてしまうのではないか。「危ぶまれている現状や」など「家庭」でない方が広がる。

部会員

「希薄化が進んでいる中で、」と切ってはどうか。

専門部会員

現状は進んでいると感じているが、「危ぶまれている」部分だけ見ていると違う感じかもしれないが、全体を読むと良い文章と感じていた。「危ぶまれている」の解釈で、現実には起こっているから心配である、また今後起こり得るから心配であるとも読める気がする。

部会長

事務局どうか。

事務局

「進行している」がよろしいかと思うが、ご懸念があるとすれば、文章は違いますが考え方として、参考までに厚生労働白書では「伝統的な共同体による互助の仕組みが後退する傾向が顕著である」と謳われていて、まさに全国的に進行しているのだと思います。気になるのは「家庭」の部分で、確かにそうでない家庭もありますので、ただ今の「危ぶまれている」のままとするか、危機というご意見がありますので「進行」に戻すか、ということかと思えます。

部会長

「進んでいる中、」と区切るかどうか。

部会員

進んでいるのはどこなのか。どういう場面なのか。

部会員

家庭に直につながると心配の部分があるとすると、下線の部分を「進む」として、「人間関係の希薄化が進む地域社会において」としてはどうか。

部会長

家庭も地域社会に含めるということだが、どうか。

部会員

「進む」というのは良いが、これから希薄化が進む地域への支援とともに、家族へも支援することを考えると「家庭」を取ることは気になる。

部会員

「家庭」と「地域社会」をひっくり返すと少しやわらかくなるのではないか。

この文章を英語に訳すのはとても難しく、主語が何で何をしたいのか、修飾語ばかりが続いている。本当は何が言いたいのか分かりづらい。他の分野も似たようなところがあるが。

部会長

ここで少し先へ進みたいと思いますので、ここでは一旦「人間関係の希薄化が進む地域社会や家庭において」ということでよろしいか。

(了承)

部会長

続きまして、中タイトル1番についていかがか。

部会員

読めば読むほど、迷路に入ってしまうような気がしますが、ここでは「環境を整備します」を言いたいのだが、「連携を図りながら推進し」と「連携を推進し」とは意味が大きく違うと思う。

部会員

「推進し」となると推進することを目標にしていることになる。

部会員

「図りながら」では、それぞれが受動的にやっていくような感じであり、行政がもう少し積極的に関わる意味合いを入れたいということで「推進」とした。

部会員

「推進することにより」とすれば、「環境を整備します」につながる。

部会員

「推進し」と「環境の整備」が並列になっている。「より」が入ればつながる。

部会員

「連携の推進により」はどうか。もう少し積極的にという意味も入る。

部会長

それでは「連携の推進により」としたい。1番についてはよろしいか。

(了承)

部会長

2番については、いかがか。

これでよろしいか。

(了承)

部会長

3番については、いかがか。先ほど「障害」の漢字表現について意見が出されたが。

部会員

札幌市や埼玉の一部など全国の自治体で「害」をひらがなで表記しているところはある。昔は「碍」を使おうという動きもあったが、「害」に戻っている。実はスペシャルオリンピックスをやっている皆さんからもそういう意見が出たことがあった。私の意見としては、今これをひらがなの「がい」や「碍」にしても、障害福祉が変わるとは思えない。もっともっと障害福祉を進めていき、障害を持っていてもバリアを感じないで生きられる世界になったときに、この「障害」という字は自然に消えるのではないかと感じている。従って害毒の「害」ではなくて、我々が「害」を感じている証であり、字自体はバランスも左右対称だし、「害」の意味は嫌いですが、バリアを持っている人間であるということで、個人的に自分が使うのは抵抗がない。

専門部会員

長野市議会でも質問されたことがあり、他の自治体の状況を調べた経過もある。市としては、法的な問題や現実的にこれまで使ってきた過程などからこのままの漢字を使用している。

部会長

それでは、3番はこのままでよいか。

(了承)

部会長

4番について、いかがか。

これも、積極的に取り組む姿勢を出したいということで追加となった。

(了承)

部会長

5番について、いかがか。

部会員

前の福祉部会でも、議論となっているが、男女共同参画社会の概念は、もっと上位概念であると思う。市の施策の高いところに位置付けた上で、この人権の中でも謳う必要があると思う。

部会長

それでは、5番はこのままとして、上位で表現できるか検討していただきたい。

(了承)

これまでの議論を事務局で整理確認してください。

事務局

審議会に上げる関係で確認させていただく。

まちづくりの方向性の「人間関係の希薄化が危ぶまれている家庭や地域社会において」を「人間関係の希薄化が進む地域社会や家庭において」と修正すること。また1番の「連携を推進し」を「連携の推進により」と修正すること。この2点を修正することで確認させていただきたい。さらに5番の男女共同参画社会は上位概念であるという意見については、行政経営の方針か都市経営戦略への記載となるかと思うが、そちらで議論をしていきたい。以上でよろしいか。

部会長

そういうことでよろしいか。

(了承)

議事(2)基本構想行政経営の方針素案について

部会長

行政経営の方針については、最終的に審議会で議論していくが、この部会としてご意見があればお願いしたい。

部会員

この前の議論で、2番の「自己決定・自己責任」という言葉があるが、地域の人たちがいろいろなサービスなど、自分たちにとって何が大事なのか自己選択し、自分たちで決めて、その責任を自分たちで負う自己責任となるその考え方は基本的に賛成だ。自己選択・自己決定・自己責任の3つがセットでよく使われるが、あえて「自己決定・自己責任」としたのは何か理由があるのか。

事務局

選択の内容は、自己決定の中に含まれていると考えている。地域のことを地域の皆さんが決めて責任を負う、こうして行うものに対して行政は積極的に支援していくという

意味である。

部会員

自己選択と言ったのは、住民が自分たちのことを自己決定する際に、いろんな選択肢があってよい。それを提供する役割は行政にあるのではないか、という意味であり、その意味が入っていればこれで構わない。

事務局

「地域社会の形成に向けた活動を積極的に支援します」の後段の部分で、決定していただいたものを行政として支援していくということで、含まれていると考えている。

部会員

自己選択があった方が、自己責任と押し付けられたときに、選択があるから責任があるということになると思う。選択があった方がよいのでは。

部会員

自己責任という言葉が、非常にひっかかる。選択という言葉があると感じが違う。

部会員

書き方は、「自己選択・決定・責任」という表現の方が、自己責任の強調が緩くなると思う。

部会長

審議会の方でも同じ意見ができるかもしれないが、そういう意見があったということで分かりやすくお願いしたい。

議事（３）基本計画策定に向けた構成要素について（意見交換）

部会長

本日は、時間も無いので宿題ということで、次回議論したいと思う。

この表はイメージということですので、特に主な取組について落ちている項目等があればお願いしたい。「児童」は学校教育関係を頭に入れた中で考えなければいけないかもしれないし、いろいろあると思うのでよろしくお願いします。次回もページを追って進行したい。

すべての項目を拾い出し、盛っていかないといけないのか。

事務局

いろいろなご意見をいただく中である程度まとめていき、施策の体系と方向性をつかんでいきたいと考えている。

部会員

ワークショップで出た要素があるが、それぞれの個別の基本計画を精査して、新たな時代に向けての総合計画を策定していくことが必要かと思う。細かい計画を存じていないが、行き当たりばったりの意見で体系付けても総合計画にならないのかと思う。以前膨大な資料をいただいたが、そこに基本計画の内容が入っているのか。

部会長

事務局の方でこういった資料の出し方を考えているか。

事務局

去年審議会でお配りした現況と課題は、その時点の現況と課題だが、実はあんしんいきいきプランは今策定中であり、次世代行動計画も出ている。大きく変わっていないが、事務局でも読み進めており、5月のたたき台では整理した形でお示していきたいと考えている。しかし、PDCAを意識していくと非常に複雑になってくるかと思うので、具体的なお意見をいただく中で、方向性を整理していかないと体系化は難しいと思う。国保などなかなかご意見が出てこない部分を含めて、市としてやっていかなければならない事業もあるので、庁内でも並行して議論をしながら、進めて行くことになる。4月の部会は、5月にたたき台を出すための方向性を探る参考としてご意見を伺いたい。事業ができるできないの議論は別の話となるかと思う。

部会長

それぞれの項目を事務局でも検討したのか。

事務局

ここに掲載した主な取組・事業に向けた要素は、ワークショップで出たご意見であり、実施できるかは先の話であり、構想へ向けての今後5年間どういう体系、方向性がよいかということへの足がかりとしていくためのイメージ表として欲しい。

部会長

委員の皆さんには、ご覧いただき、委員としての不足部分を出していただくことでお願いしたい。その後、行政としても見て落ちを補完していく形となるという理解で、お願いしたい。

難しい表現もあるが、エンパワーメントとはどういう意味か。

部会員

生きる力を高めること、または自立生活をする力を高めること、という意味で使っている。

部会長

本日は、これで終了します。